

基本的な考え方

全世界からの注目を集める2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を直接的・間接的に支える重要なサービスを提供する事業者等（以下「重要サービス事業者等」という。）には、そのサービスが安全かつ継続的に提供することが期待される。そのために必要な措置を自ら講じられるようにするため、リスクを特定・分析・評価することが必要。

(イメージ)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功

成功のためには…

(要件) 大会開催に必要なサービスが安全かつ継続的に提供されること
⇒ 大会開催に向けた各重要サービス事業者等の活動目的

機能を保証するためには…

活動目的に対する不確実さ（＝リスク）を特定・分析・評価し、必要な対処につなげることが重要

各重要サービス事業者等が、

① 大会開催に必要なサービス及び必要なサービスレベルを特定し、
② そのサービスの安全かつ継続的な提供に対するリスクを特定・分析・評価することが重要（機能保証のためのリスクアセスメント）

機能保証のためのリスクアセスメントの枠組み

「機能保証の観点から、事業者等が社会経済システムの中で果たすべき役割・機能を発揮するために維持・継続することが必要なサービスを特定」し、その「サービス提供の維持・継続に必要な業務や経営資源に係る要件を分析・評価」した上、これらに影響する「事象の結果からリスク源までを分析」していく。

第5回からは、リスクアセスメントガイドラインの「7. リスクアセスメントの妥当性確認・評価」及び「8. リスクアセスメントの継続的な見直し」のプロセスを実施対象範囲として追加。

The diagram illustrates the risk assessment framework. On the left, a flowchart shows the 'Risk Management Process' (リスクマネジメントのプロセス) involving 'Organization Status Confirmation' (組織の状況の確定), 'Risk Assessment' (リスクアセスメント), and 'Risk Response' (リスク対応), with 'Communication and Coordination' (コミュニケーション及び協議) and 'Monitoring and Review' (モニタリング及びレビュー) as ongoing activities. The central flowchart details the 'Risk Assessment Process' (リスクアセスメントのプロセス) in 8 steps: 1. Confirmation of purpose, 2. Identification of important services, 3. Impact analysis, 4. Identification of business and resources, 5. Risk assessment, 6. Risk identification, analysis, and evaluation, 7. Confirmation and evaluation of appropriateness, and 8. Continuous review. A vertical bar on the right, labeled 'Scope for Continuous Implementation' (第6回において引き続き実施いただきたい範囲), highlights steps 7 and 8. Arrows indicate the flow from the management process to the assessment process and back.

対象とするリスク

情報、情報システム、制御システム等の情報資産に係る事象の結果（自然災害やサイバー攻撃等に起因するIT障害 ※1）から認識されるリスクが対象。

※1 2017年4月18日公表の「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る第4次行動計画」における、「重要インフラサービス障害」の定義と同義